



体育祭 “勝っても 負けても 笑タイム”

『勝っても 負けても 笑（ショー）タイム』のスローガンには、「みんなが勝ち負けに関係なく、笑って終われる体育祭になってほしい」という思いが込められています。準備から全力で取り組み、全校で笑タイムを作り上げました。仲間と協力し合う中で、学級や学年を越えた絆が深まったことと思います。保護者や地域のみなさまの温かい声援が生徒の大きな力となりました。



【青連合：山崎星南さん（3年2組）】

体育祭を終えて僕は今、達成感と充実感を感じています。今年は体育祭全体を見る体育祭実行委員長、青連合をまとめる連合長として、体育祭を盛り上げて来ました。最初は両立ができるか、不安を抱いていましたが、共に良い体育祭を創り上げる生徒会総務、共に全力で戦う青連合のみんなに支えられながら、めげずに自分の責務を全うすることができました。本当にいつも近くで支えてくれた、生徒会総務、応援団長、応援リーダー、青連のみんな、本当にありがとう。

僕の今年の体育祭の大きな目標は「みんなで四冠」でした。その目標を達成するために、僕自身は臨機応変に動くことを目指して頑張りました。

連合としての結果は望んでいたものではありませんでしたが、臨機応変に動く力は体育祭活動を通して身につけることができたと思います。この力をこれからの学校生活に繋げ、より良い学校づくりに努めていきたいです。

【赤連合：原悠人さん（3年1組）】

みなさんはどんな気持ちで体育祭の一日を過ごしましたか。

僕には、みんなが全力で楽しめる体育祭にするという目標がありました。応援練習が始まった時、まだみんなが応援を全力で楽しんでいるわけではないなと感じていました。でも、

段々みんなと僕たちの気持ちが同じ向きになるのを感じ、最後の練習ではすばらしい応援になって感動してしまいました。

「これならいける！」そう思って迎えた体育祭、規定応援ではみんなの体育祭へのやる気が伝わってきたし、競技中の応援では、一人一人が声を出してくれたおかげで、みんなの力になったのではないかなと思いました。そして午後応援では、全力を出し切ってくれたみんなの赤連合への熱い想いを感じることができました。そんな応援の歌詞で僕は、実際に 2 冠をとって感じたことでもある「夢じゃない仲間となら」が特に好きです。仲間と頑張ったこの経験を今後に生かして、何事にも全力で楽しみながら挑戦してみたいです。

最後に、こんなに最高の思い出がつくれたのは、みんなが僕たちの想いについてきてくれたおかげです。本当にありがとう。大好き赤連！

【緑連合：古川真誠さん（3年3組）】

今、僕の心は「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。

まずはリーダーへ。活動中は、楽しかったことも衝突しそうになったこともありました。プレッシャーや焦りで、余裕がなくなっていた僕を支えてくれたみんなには本当に感謝です。僕のわがままに付き合ってくれて、いつも頼ってくれて、嬉しかったです。ありがとう。

そして、緑連合のみんなへ。応援練習ではうまくいなくて心配なときもあったけれど、体育祭が近づくにつれ、みんなの本気を感じるようになりました。パネル、応援、競技の全てで、豹のように猛々しく戦いました。心の中では緑連合が No.1！みんなと一緒に喜びや悔しさを分かち合えたことは、とても嬉しかったし、幸せでした。たくさんの思い出をありがとう。

また、様々な面でサポートしてくださった先生方、体育祭関係者の皆さん、他連合のみんなにも感謝の気持ちでいっぱいです。まだまだ言い尽くせませんが最後に 1 つだけ。

緑連大好！！早中最高！！

【職員代表：室橋幸介 教諭】

全校生徒の皆さん、今年の体育祭はいかがだったでしょうか？スローガンの『勝っても負けても笑タイム』にふさわしい瞬間がたくさんあったはずです。

1 年生は初めての体育祭ということもあり、なかなか慣れない部分が多かったのではないのでしょうか？それでも練習から一生懸命に取り組み、先輩たちとともに汗を流す姿は、きっと小学生だった頃よりも、ぐんと成長した姿だったのだらうと思います。来年度の体育祭では、今年培った経験を活かして、さらに充実した体育祭にするために力を貸してほしいです。

2 年生は 2 回目の体育祭で、気合の入っている人たちが多かったと思います。初めての後輩を率いての体育祭は、先輩という肩書を確固たるものにするために絶好の機会になったはずです。競技への取り組み、応援する姿勢、どこを振り返っても、去年よりバージョンアップしていたはず。来年度が最後の体育祭です。今年以上の体験をできるように、今

から準備していききたいですね。

3年生は学校生活最後の体育祭でした。生徒会を中心に、各委員長やリーダーたちが、行事の成功のために尽力してくれました。自分の時間を削って、誰かのために動くことはとても大変だったと思います。そして、リーダーたちを支えるフォロワーの3年生も、リーダーに負けず劣らず気合の入った姿勢で練習に取り組み、本番を盛り上げてくれました。3年生は「集団で動く」ことの楽しさを1・2年生に示してくれたと思います。競い合っている以上、必ず勝ち負けがあります。閉会式の結果発表の場面で、本気で喜ぶ姿と本気で悔しがる姿を同時に見ることができました。いろんな気持ちが入り混じった瞬間だったと思います。でも、あの瞬間は本気で取り組んだからこそ、見ることもできた瞬間だったはずです。何かに本気で取り組むことは、簡単にできることではありません。それを成し遂げた皆さんの姿は、とてもかっこよかったです。今年の体育祭で、皆さんの『本気』をたくさん見ることに感謝しています。ありがとうございました。これからも本気で取り組むかっこいい人であり続けましょう。きっとそんな人にスポットライトが当たる『ショータイム』が待っているはずです。

早中総おどり隊

総おどり隊が、9月13日（土）・14日（日）に開催された『にいがた総おどり』に参加し、新潟駅南口広場、万代シティ十字路、古町6・7番町などで、華麗に舞いました。総おどり隊の演舞は、観客から手拍子が自然と沸き起こる、思わず体が動き出す・・・魅力ある踊りでした。

14日（日）の夜に県内の中学生と一緒に踊った『05 神楽（かぐら）』は圧巻！踊りを通じて、他校の生徒との親睦が深まったようです。



【総おどり隊：木村梓さん（3年1組）】

今回のにいがた総おどり祭はとても達成感のあるものとすることができ、支えてくれている人のことを改めて実感することができました。

演舞前にみんなで円陣を組んだときに一つになれたと感じ、その感じのまま演舞に臨むことができました。演舞中では、たくさんの人が写真や動画を撮ってくださっていて緊張しましたが、本当に色々な人に支えられているんだなという実感が湧きました。また、気

をつけるべきところに気をつけながら、指先まで力を込めることと、ずっと笑顔でいることを意識して全力で踊り切れたので良かったです。演舞が終わったあとは、大きな拍手に包まれて、今までの早中総踊り隊の練習の成果を観客の方々に存分に見せ、観客の皆さまが「良かった」「感動した」と言ってくれているようで、とても嬉しかったです。

楽しかったこと、嬉しかったことを、たくさん経験でき、悔いが残らない体験にすることができました。来年総踊り隊に入る人たちにもぜひ体験してほしいです。

【職員代表：長谷川大雅 教諭】

6月に総踊りの実行委員を募集してから今年度の総踊り活動がスタートしました。体育や総合の時間でクラスごと、2学年合同など、様々な形を取りながら総踊りの習得、発展に取り組んで来ました。

1年生にとっては「見たことはあるけどやったことはない総踊り」、覚えるのに苦戦していましたが、友達や先輩に教わりながら楽しそうに踊っていました。2年生は教える側になり、昨年の経験を活かしながら、仲間と協力しあって伝統の継承に尽力してくれました。3年生は「発信」をテーマにオリジナルの総踊りを考え、総合の時間で地域の巡り、魅力を広めてきてくれました。

中でも総踊り隊の生徒の輝きはひとしおでした。部活や体育祭などで練習はかなり大変だったと思います。しかし、だからこそ総踊りにかける気持ちの強さ、意志が表れた力強い演舞の披露につながったと思います。活動のすべてが上手くいったわけではなく、上手くいかないこともありましたが、「にいがた総おどり祭」解散時の子どもたちの表情に、活動の充実さが表れていました。

土日の活動ができなくなる来年度、総踊り隊の活動がどのようなものになるかはわかりませんが、授業を通した総踊りの継承はこれからも続いていきます。この先も総踊りを介し、子どもたちの笑顔、演舞を見る方々の笑顔が溢れていくことを期待しています。

大会・コンクールの結果

サッカー	北信越中学校総合競技大会	第3位
対 速星中（富山県代表）	2－1	勝ち
対 福井工大附属中（福井県代表）	3－0	勝ち
対 星陵中（石川県代表）	0－1	負け

吹奏楽	新潟県吹奏楽コンクール	銀賞
-----	-------------	----



生徒の活動の様子は『はやどり！まるどり！早通』

早中ブログ こちらから

